

令和元年10月発行

立川市

認知症サポーター

ステップアップ連絡会 通信

Vol. 6

食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋…どんな秋をお過ごしですか。この通信は、認知症サポーターステップアップ講座を受講された皆様にご覧頂いて、受講後の活動についてヒントを得たり、同じ受講生として困ったことや悩みについて共に考え、励みになればと思いお届けしています。

今年度は、6月26日に通算4回目の活動連絡会を行い、8月27日に第3回認知症サポーターステップアップ講座を開催しました。



6月26日 活動連絡会

6月26日の連絡会は12名の受講生にご参加頂き、「若年性認知症を知ろう！」をテーマに若年性認知症についての理解を深めるとともに、第3回認知症サポーターステップアップ講座への企画や意見交換を行いました。

※若年性認知症とは65歳未満で発症する認知症であり、病理学的には老年期認知症と同じです。しかし若年性認知症は、様々な社会的・家庭的問題を引き起こし、特にライフサイクルの視点から、就労・経済的な問題が生活上大きな影響があると言われています。



8月27日認知症サポーターステップアップ講座

8月27日は第3回認知症サポーターステップアップ講座を行い、新たに受講生が15名誕生しました。また当日は、5名の先輩受講生にご協力を頂き、実際のボランティア体験や今後の活動につながる事が出来ました。



高齢福祉課
小平課長からのご挨拶
&
オリエンテーション



～グループワーク～
自己紹介
参加のきっかけ・動機について
話し合おう

「声かけ模擬訓練」



修了証書授与



認知症の方に対して
まずは共感すること。

認知症サポーターの講習が
広がってほしい。

声かけ訓練の設定が
深くて驚いた。
楽しかった。

ご意見・ご感想など

また、当日お手伝い頂いた先輩受講生から、

下記のようなお手紙を頂きました。



私は老人施設のボランティア活動を始めて11年目になります。きっかけは母が入居の施設に6年お世話になって11年前に亡くなりまして、その時に思いました、自分も将来施設に入るのかな。それなら元気な今何かしようと思いはじめたことでした。か
今では人のお世話にできるだけでなく健康な体でいられる度にボランティア活動をさせて頂いております。ボランティアができて感謝しております。

11年前に認知症の講座を受講してすくに始めました。

いろいろな体験をさせて頂きながら自分自身が変わりました。街中で障害者、車いすの人、認知症の人に、ちろちろと声をかけられるようになり、知り合いも沢山できました。

実体験で、その場、その時の対応が見つかる事だと思っております。私は現在子供達も巣立ち、主人も亡くなり一人になって、つくづく思います。

10年活動を続けられたことはとても良かったと今自分が後期高齢者になってもいつでも楽しく出かけられる場所がある、そして相手に喜んで頂ける、とても幸せなことです。

ボランティア経験のない方、ぜひ始めてみませんか。楽しいこと沢山あります。



次回のご案内

日 時：令和元年10月30日（水）
午前10時～11時半

場 所：立川市役所101会議室

テーマ：『認知症の人』への寄り添い方
～講義とグループワーク～

講 師：至誠和光ホーム 前園長
春山順子さん

※出欠のご連絡は、資料作成の都合でなるべく前日までに下記へお願いします。

ボランティアを募集しています！

認知症対応型デイサービスやグループホームのボランティアをしませんか？

お住まいの近くや、興味のあるところをご紹介します。

「話を聞きたい」だけでも大丈夫ですので、お気軽にご連絡ください。

問合せ先

立川市高齢福祉課介護予防推進係 ☎523-2111 内線1471
認知症地域支援推進員 南エリア（兵藤） ☎540-0311
北エリア（水村） ☎538-2339

※連絡会通信の送付が不要な方は、お手数ですが、ご連絡をお願い致します。